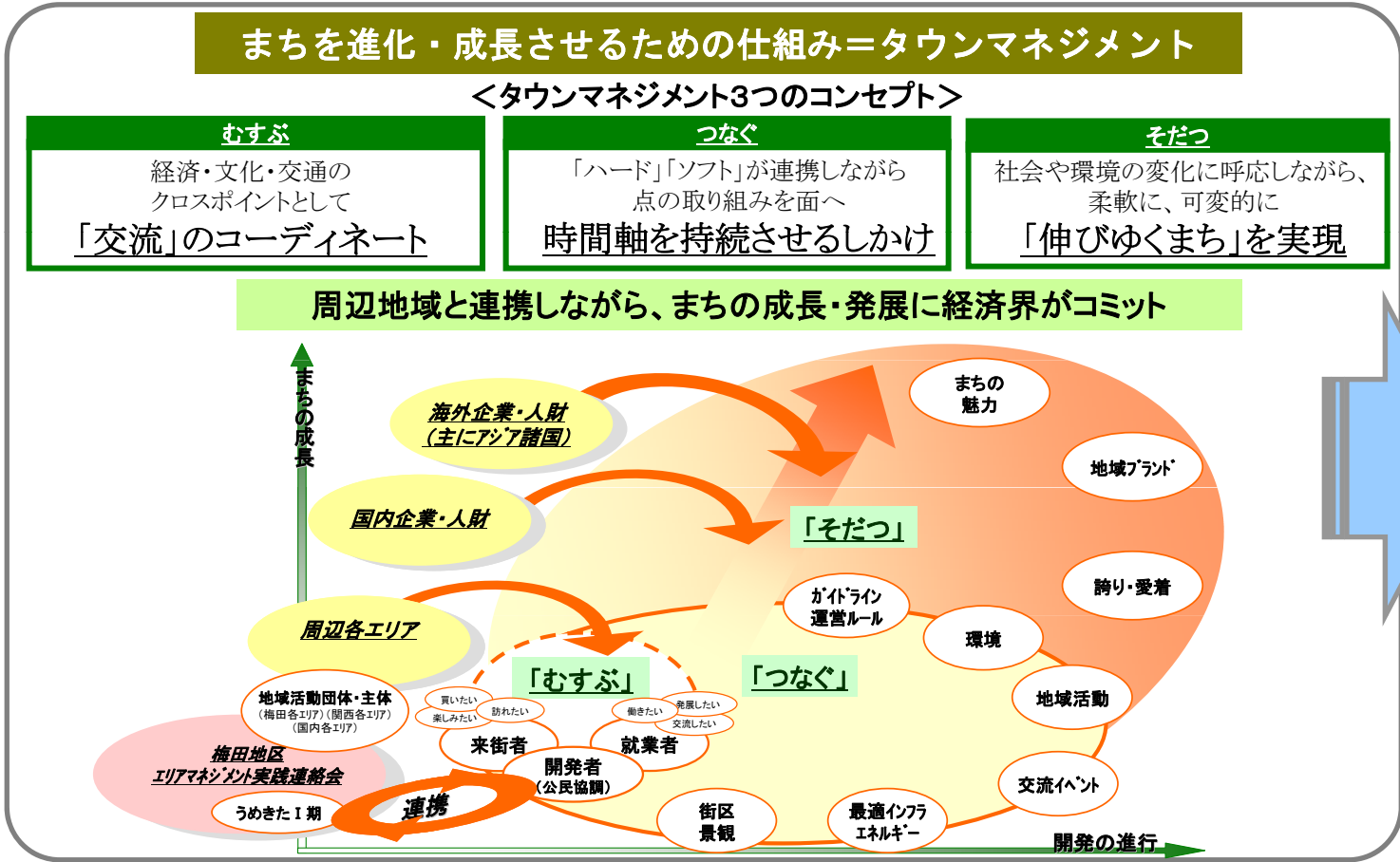
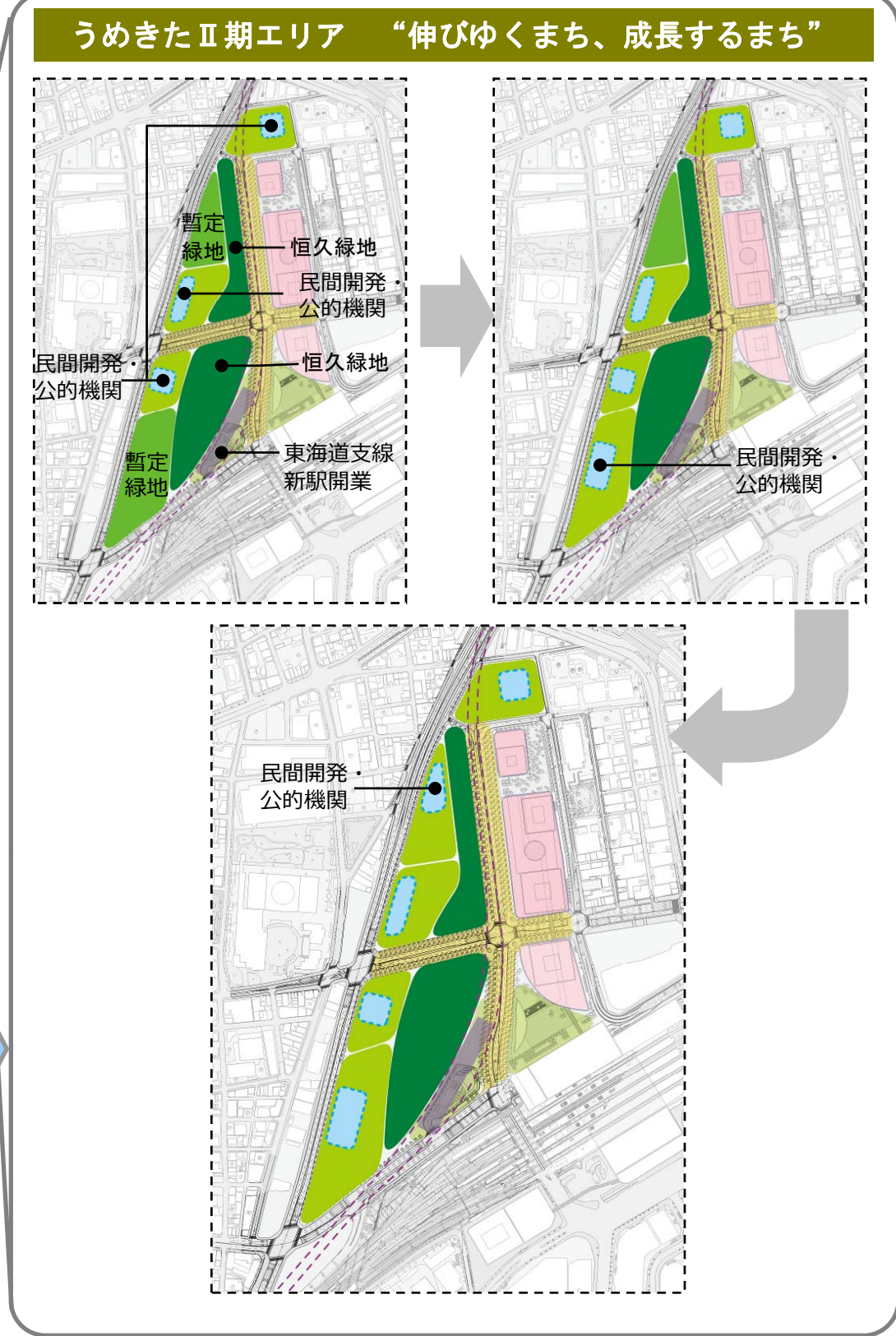
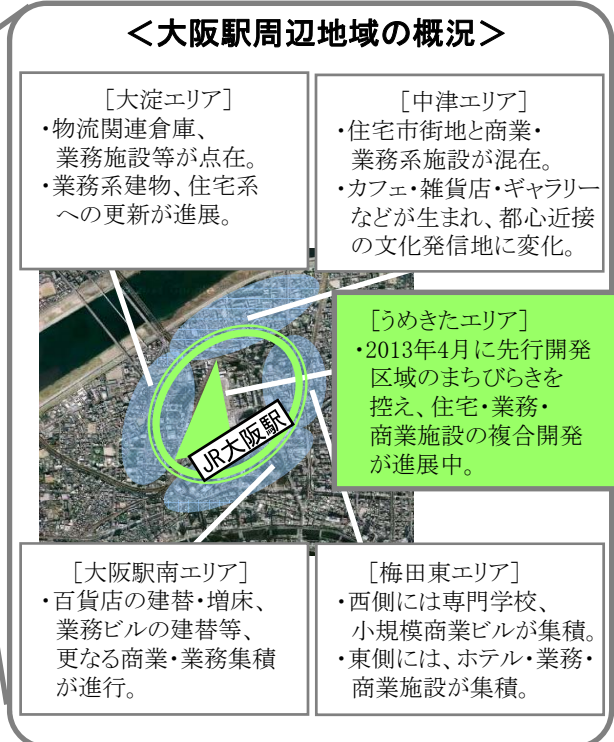
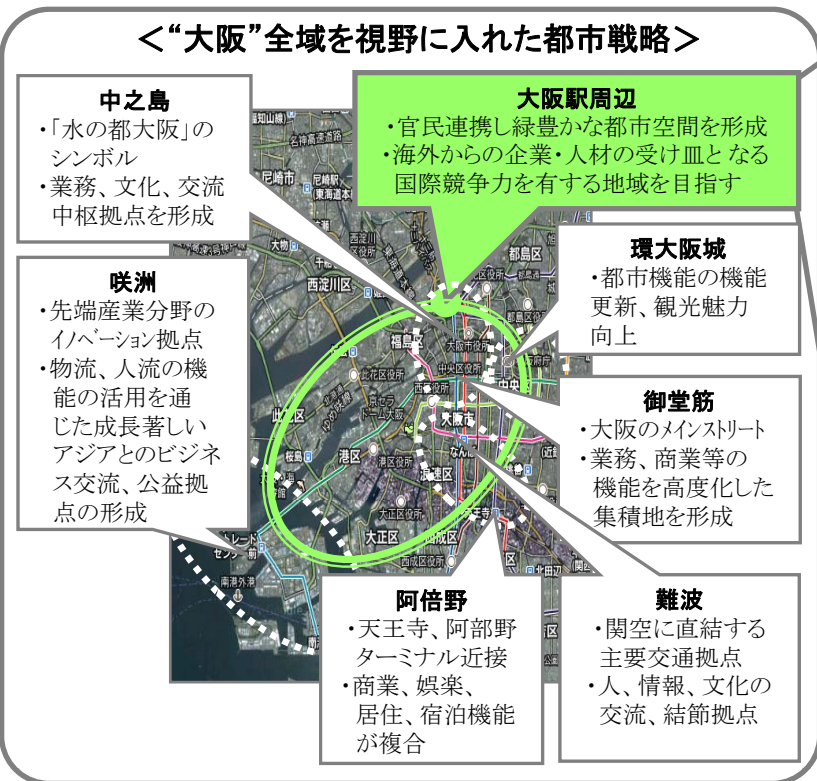


●社会や経済環境の変化に合わせて、まち自身が進化。暫定緑地と恒久緑地を併用。  
●周囲との相乗効果を生みつつ、「大梅田」が成長していくための仕組みを構築。



●伸びゆくまち、成長するまちの中で、緑地の利用方法も進化させていく。



●「関西イノベーション国際戦略総合特区」の中核である“うめきた”で  
域内特区の先進的な取組を交流・融合・発信。



### “うめきた”での取組

特区各拠点の先進的な取組を交流・融合・発信

- ナレッジキャピタル  
・開発へのユーザーニーズへの反映、感性と技術の融合による新しい価値創造。
- 大阪オープン・イノベーション・ビレッジ  
・大学等の「知」の機能と協働。出会いと異分野融合により、プロジェクト創出。

＜取組例＞

- 「京」を活用した先端防災研究
- 先制医療の実現に向けた研究開発促進  
・家庭と医療施設をITで直結、バイタルデータ収集。
- 先端医療技術（再生医療・細胞治療、ロボットテクノロジー）の開発・実証
- 先端研究の推進機関の設置  
・先端研究の実施。  
・大学・研究機関間の連携推進。  
・研究成果の可視化、実証、評価。  
・産学マッチング。  
・知的資源のデジタルアーカイブ化。
- 未利用・再生可能エネルギーの活用、低炭素型まちづくり  
・既に特定都市再生緊急整備地域に選定されており、下水の民間利用可能。
- 先端実証を呼び水としたバッテリークラスターの形成  
・カセット式バッテリーを地区内分散配置。地域循環EVバスの交換用電源、地域の非常時電源として活用。
- 「けいはんな」と連携した学術研究の推進、新産業創出  
・レアメタル精製、自動翻訳、CO2回収等の技術成果を産業化に繋げる実証フィールドとして“うめきた”を活用。

交流  
融合  
発信

＜関西特区拠点での取組事例＞

- 1 神戸医療産業都市  
・世界最速のスパコン「京」
- 1 神戸医療産業都市、京都市内 3  
・大規模・長期にわたる臨床データの収集・解析を通じた疾病発症要因の解明。
- 2 北大阪・京都市内 3  
・ホウ素中性子捕捉療法の実用化促進。  
・医療ロボット(ロボティックベッド、薬剤ロボット、自律搬送ロボット)をモデルケースとした導入実証。
- 4 夢洲・咲洲  
・公共下水管から下水を逆方向流入させ、熱交換器により下水熱を直接利用。
- 4 夢洲・咲洲  
・メガソーラー、ごみ発電の需給調整用カセット式バッテリーと電動車両のエネルギー・運行管理システム構築。
- 5 けいはんな学研都市  
・情報通信、環境、バイオ等の分野における先進的な研究。  
・国立国会図書館関西館における知的資源の蓄積。

関西全域へ展開

●“うめきた”の取組を関西全域へ展開。  
日本の国際競争力強化へとつなげる。

「関西イノベーション国際戦略総合特区」構想

国際競争力向上のための“イノベーションプラットフォーム”の構築  
(実用化・市場づくりをめざしたイノベーションを次々に創出する仕組み)



+

首都代替

・関西は、経済と情報の集積地であり、首都代替機能の適地。

世界と関西を結ぶゲートウェイ

・大阪市内にリニア新駅等を早期に設置し、  
関西を世界の交流拠点に。

関西を日本の国際競争力強化のエンジンに